

桜台親和町会で作成された「訓練報告書」

桜台親和町会広報部

報告書 2 例について以下のように示しました。桜台親和町会ホームページレスキュー隊欄に掲載したものです。

<http://www.choukai.com/shinwachoukai/resq.html#20141201bouka>

<http://www.choukai.com/shinwachoukai/resq.html#20140915standpipe>

.....

訓練報告 1. 練馬警察署・消防署レスキュー隊との合同訓練報告

## 練馬警察署・消防署レスキュー隊との合同訓練報告

(2014. 10. 26 実施)

桜台親和町会レスキュー隊長



昨年に引き続いて、練馬警察署レスキュー隊と桜台親和町会レスキュー隊との合同訓練が、開進第三中学校南門近くの校庭で行われました。この訓練には、練馬消防署の方々も参加していただき、レスキュー隊員約 30 名と合わせ総勢 50 名ほどの訓練となりました。

開会のセレモニーの後、練馬警察署の方々の指揮で準備体操を行いました。

はじめは、警察の方々による資器材の紹介で、今回初めて披露されたのが、「ゴージャック」という名の車両移動装置です(添付動画参照願います)。災害時に乗り捨てられた車両を移動させ緊急車両の通行を確保するための装置です。4か所のタイヤに機器を取り付け、指揮者を含めて5名で車両を移動させることができる装置です。

続いて、エンジンカッターの取り扱いや練馬警察署管内14の交番に配備されている防災用資器材の説明がありました。

その頃、現場への出動で、私たちの訓練への参加が遅れていた消防署の方々も到着しました。いつもの丸広土木(株)の方から依頼を受けた、練馬区羽沢の坂口解体工業の方々により、金属金具等で留められた木材や塩ビパイプなどが積み上げられた倒壊想定家屋の下に置かれた被害者2名(人形)を救出する訓練を3回行いました。

昨年度購入した2基の強力万能レシプロカッター(充電式)やパール・ジャッキも駆使し、木材、金属金具、鉄パイプを切断し、生き埋め者を素早く救い出す訓練を行いました。ブロック幹事長が指揮をし、負傷者への勇気付けのための声かけ、ジャッキアップ、材木運び出し、生き埋め者の救出等の役割分担をして人形(重さ35キロぐらい)2体を運び出しました。

訓練について、練馬警察署や練馬消防署から次のようなご指導ご講評をいただきました。

- 声を出し、また、被害者に声をかけているのは大切なことである。
- 救出の際に救出者が安全であるよう、特に腰を痛めるようなことがないように姿勢を注意したり共同で作業を行ったりすることが大切である
- 助けるための方法は一つというわけではないので、状況に合わせた措置が大切である

訓練にご参加頂きましたレスキュー隊、練馬警察署レスキュー隊および練馬消防署、坂口解体工業の皆様にお礼申し上げます。有難うございました。

以上

追記1:桜台親和町会は東京防災隣組認定団体です



Keywords;桜台親和町会、練馬区桜台、桜台二丁目、桜台三丁目、桜台親和町会レスキュー隊、練馬警察署レスキュー隊、練馬消防署、ゴージャック、東京防災隣組認定団体

.....

## 訓練報告 2

### スタンドパイプ操作訓練を実施しました (2014. 8. 24 実施)

桜台親和町会レスキュー隊長



2014年8月24日(日)に練馬消防署の指導のもと、町会員・レスキュー隊員約40名が参加し「スタンドパイプ操作訓練」が行われました。

スタンドパイプ消火資機材とは、地下式消火栓に直接ホースを接続し、初期消火や延焼防止することができる道具一式で、消防車が入ることが難しい細街路でも消火栓があれば直接接続し、初期消火活動ができる資機材です。

練馬区では、地域防災力を向上させるため、区内の防災会に、スタンドパイプを配付する取組を進めています。

桜台親和町会でも配付が行われたのを機に、レスキュー隊では、この資機材の特徴と操作方法を学び、災害発生時の初期消火活動に迅速に対応できるようにすることを目的として、今回の操作訓練を実施しました。

午後2時、会場となった「しいのみ公園」に集合した参加者たちは、A、B、C、Dの各ブロックに分かれ、練馬区消防署員から公園の近くの消火栓にスタンドパイプを接続する訓練や、放水作業の手順や合図、放水時の正しい姿勢などの指導を受けながら、交代でスタンドパイプによる放水を体得しました。また、40kg以上ある消火栓の蓋を特殊な器具を使って開ける訓練も行いました。

今回導入されたスタンドパイプは最大80mまでホースをつなぐことができ、毎分100リットルの放水が可能です。放水距離は約15mで、建物の2階くらいまで放水できます。

また、スタンドパイプ自体は比較的軽量ですので女性や元気な高齢者なら持ち運びが出来ますし、消火栓が使えるところならどこでも運んで放水することが出来る特徴があります。

約1時間に渡る訓練後、練馬消防署の方から講評があり、「最初は戸惑いがあったかもしれませんが、最後にはスムーズに操作ができるようになったと思います。一回、実施したから大丈夫とは考えず、継続的に訓練し、他の方に教えることが出来るまで体得して欲しい。」と話されました。

スタンドパイプは、大規模災害による火災発生時に町内の皆さんの大きな味方となります。この資機材は「しいのみ公園」の防災倉庫に納めてあります。そして、普段から自宅付近の消火栓や消火器の位置を確認することも改めてお願い致します。

桜台親和町会では、「助かろう・助けよう」を合言葉に皆様の安全・安心のため、日頃からしっかり備えてまいります。皆様のご協力とご理解をお願い致します。

Keywords: 桜台親和町会、練馬区桜台、桜台2丁目、桜台3丁目、スタンドパイプ操作訓練、防災会、しいのみ公園、防災倉庫、初期消火マニュアル、助かろう・助けよう、練馬消防署、安全・安心

以上